

## 農業農村整備事業等事後評価地区別結果書

局 名	生産局（北海道）
-----	----------

都道府県名	北海道	関係市町村名	えさしぐんえさしちよう 枝幸郡枝幸町
事業名	農業競争力強化基盤整備事業 (草地畜産基盤整備事業 草地整備型(公共牧場整備))	地区名	ヤマウス
事業主体名	北海道	事業完了年度	平成 25 年度

**〔事業内容〕**

事業目的： 本地区は、北海道宗谷総合振興局管内の枝幸町南部に位置し、冷涼な気象条件にも適応した酪農・畜産を中心とした農業が展開されている。  
 しかし、飼養頭数の増加を目指した持続的な酪農・畜産経営のためには、労働力軽減の農業支援システムの構築が必要とされていた。  
 このため、本事業により公共牧場の飼料基盤及び利用施設を一体的に整備し、優良飼料の生産性を高め通年預託を可能とすることで、地域の酪農・畜産経営の安定に資する。

受益面積： 436ha  
 受益者数： 41 人  
 主要工事： 草地整備 436ha、道路整備 9.2km、雑用水施設整備 16.2km、隔障物整備 49.8km  
 総事業費： 1,498 百万円  
 工 期： 平成 20 年度～平成 25 年度（計画変更：平成 24 年度）  
 関連事業： 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 枝幸地区

**〔項 目〕**

1 社会経済情勢の変化

(1) 社会情勢の変化

本地域の総人口について、平成 17 年と平成 27 年を比較すると 14%低下し、北海道全体の減少率 4%を上回っている。  
 (北海道全体は平成 17 年：5,627,737 人、平成 27 年：5,381,733 人)。

**【人口、世帯数】**

区分	平成 17 年	平成 27 年	増減率
総人口	9,815 人	8,437 人	△14%
総世帯数	4,021 戸	3,772 戸	△6%

(出典：国勢調査)

産業別就業人口については、第1次産業の割合が平成17年の23%から平成27年の25%とほぼ同程度で推移しており、平成27年の北海道全体の割合7%に比べて高い状況となっている。

【産業別就業人口】

	平成17年		平成27年		北海道（平成27年）	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
第1次産業	1,146人	23%	1,141人	25%	170,366人	7%
第2次産業	1,360人	26%	1,162人	25%	411,569人	18%
第3次産業	2,568人	51%	2,256人	50%	1,718,253人	75%

（出典：国勢調査）

(2) 地域農業の動向

平成17年と平成27年を比較すると、耕地面積については2%、農家戸数は21%、農業就業人口は22%減少しているが、65歳以上の農業就業人口は55%、農家1戸当たりの経営面積は25%増加している。また、認定農業者数は1%減少している。

区分	平成17年	平成27年	増減率
耕地面積	11,000ha	10,800ha	△2%
農家戸数	168戸	132戸	△21%
農業就業人口	432人	335人	△22%
うち65歳以上	47人	73人	55%
戸当たり経営面積	65.48ha/戸	81.82ha/戸	25%
認定農業者数	111人	110人	△1%

（出典：農林水産統計年報、農林業センサス、認定農業者数は枝幸町調べ）

2 事業により整備された施設の管理状況

本事業により整備された公共牧場の草地（採草地・放牧地）については、牧場職員により雑草駆除や堆肥散布が行われる等、適正な維持管理がされている。

また、指定管理者である宗谷南農業協同組合の適正な飼養管理により、平成28年度より計画を上回る頭数となっている。

3 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

(1) 農作物の生産量の変化

事業預託農家の飼料作物作付面積については、公共牧場の整備により農作業の省力化が図られ離農跡地も活用することが可能となったことから、計画を上回っている。

【事業預託農家の作付面積】

（単位：ha）

区分	事業計画（平成24年）		評価時点 （平成30年）
	現況 （平成19年）	計画	
飼料作物（牧草）	2,618	2,930	4,023

（出典：JA宗谷南聞き取り）

事業預託農家の乳用牛と肉用牛飼養頭数については、公共牧場の整備により農作業の省力化が図られ、労働負担の低減や飼養管理の改善がなされたことから、計画を大幅に上回っている。

【事業預託農家の飼養頭数】

(単位：頭)

区分	事業計画（平成 24 年）		評価時点 （平成 30 年）
	現況 （平成 19 年）	計画	
乳用牛	2,800	3,669	4,777
うち経産牛	1,944	2,366	3,239
肉用牛	1	5	29

(出典：JA 宗谷南聞き取り)

事業預託農家の生乳生産量については、公共牧場の整備により農作業の省力化が図られ、飼育管理の改善により個体乳量も増加したことから、総生産量は計画を上回っている。

【事業預託農家の生乳生産量】

(単位：t)

区分	事業計画（平成 24 年）		評価時点 （平成 30 年）
	現況 （平成 19 年）	計画	
生乳生産量	13,907	18,530	23,318
1 頭当たり	7,153kg/頭・年	7,831kg/頭・年	7,199kg/頭・年

(出典：JA 宗谷南聞き取り)

(2) 営農経費の節減

公共牧場の整備により農作業の省力化が図られたことで、効率的な営農作業体系が確立し、農作業に係る労働時間の節減が図られている。節減された時間は、飼養管理や草地管理の向上に振り向けている。

【労働時間】

(単位：hr/ha)

区分	事業計画（平成 24 年）		評価時点 （平成 30 年）
	現況 （平成 19 年）	計画	
草地管理	21	17	17
うち飼料収穫	12	11	11

(出典：JA 宗谷南聞き取り)

4 事業効果の発現状況

(1) 事業の目的に関する事項

① 酪農・畜産経営の生産性向上

本事業により公共牧場が整備され農作業の省力化が図られたことから、事業預託農家の飼料作物の生産量は、事業実施前と比較して大幅に増加している。また、安定的に良質な飼料の供給が可能となったため、事業預託農家 1 戸当たりの飼養頭数が増加しており、経営の規模拡大が図られている。

【事業預託農家の飼料作物の生産量】 (単位：t)

区分	事業計画時現況 (平成 19 年)	評価時点 (平成 30 年)
飼料作物	85,571	140,805

(出典：JA 宗谷南聞き取り)

【事業預託農家 1 戸当たりの飼養頭数】 (単位：頭)

区分	事業計画時現況 (平成 19 年)	評価時点 (平成 30 年)
乳用牛	84	116
肉用牛	0.03	0.7

(出典：JA 宗谷南聞き取り)

② 飼料自給率の向上

公共牧場が整備され自給粗飼料の増加や品質向上が図られたことで、飼料自給率も向上している。

【町の飼料自給率】 (単位：%)

区分	事業計画時現況 (平成 19 年)	評価時点 (平成 30 年)
飼料自給率	70	73

(出典：JA 宗谷南聞き取り)

③ 担い手農家の育成

公共牧場の整備により、自給飼料生産基盤に立脚した持続的な酪農・畜産経営が可能となったことで、認定農業者（事業預託農家）が事業実施前の 33 名から 41 名に増加しており、新たな担い手が育成されている。

【事業預託農家の認定農業者数】 (単位：人)

区分	事業計画時現況 (平成 19 年)	評価時点 (平成 30 年)
認定農業者	33	41

(出典：JA 宗谷南聞き取り)

(2) 土地改良長期計画における施策と目指す成果の確認

① 担い手の体質強化

公共牧場の整備等を契機に、事業預託農家への農地の集積が進んでおり、預託農家 1 戸当たりの飼料作付面積が増加し、規模拡大による酪農経営の体質強化が図られている。

事業預託者 1 戸当たりの飼料作付面積 (単位：ha/戸)

区分	事業計画時現況 (平成 19 年)	評価時点 (平成 30 年)
1 戸当たり 飼料作付面積	77.6	95.5

(出典：JA 宗谷南聞き取り)

(3) 事業による波及的効果等

① 生乳の加工・販売による地域活性化

枝幸町で生産される生乳は、大半が「よつ葉乳業宗谷工場」へ運ばれ全粉乳として加工される(工場の受入乳量全体の50%を占める)。この全粉乳は大手菓子メーカーや大手飲料メーカーに原料として出荷され、製品は全国で販売されている。

また、生乳は「宗谷ゴータチーズ」に加工され、南宗谷4町村のJAにおいて限定販売されているなど、地域経済の活性化に寄与している。

② 担い手の育成に向けた取組

本牧場においては新規就農希望者の担い手研修施設としても活用され、毎年1名前後が研修終了後に就農しており、これらの取組が地域農業の担い手育成につながっている。

(4) 事後評価時点における費用対効果分析の結果

総便益 4,655 百万円

総費用 4,298 百万円

総費用総便益比 1.08

(注) 総費用総便益比方式により算定。

5 事業実施による環境の変化

(1) 生活環境

本事業の関連事業において整備された家畜排せつ物処理施設により、家畜糞尿の適切な処理が行われていることから、臭気が抑制され地域の生活環境が改善されている。

(2) 自然環境

本事業の実施にあたっては、排出ガス対策型建設機械の使用による排出ガスの低減に努めた。また、暗渠排水の整備にあたって、流末処理に汚濁防止施設を設置し、施工時に発生する汚濁水が流出しないよう下流部の河川及び水生生物に配慮して工事を行ったほか、暗渠排水の疎水材には、地域で排出されるホタテの貝殻を活用し地域資源の有効活用を図った。このほか、施工前に鳥類及びほ乳類について調査を実施し、希少生物が生息しないことを確認して工事を実施した。

6 今後の課題等

公共牧場の供用開始後、新規就農者・生産法人設立等による預託希望者が増加している現状を踏まえて、今年度採択された道営草地畜産基盤整備事業(草地整備型(公共牧場整備事業))により哺育舎、育成舎、乾燥庫等を建設し預託希望者からのニーズに対応することが必要である。また、地域の草地に関しては、牧草の生育に支障を来している農地を対象に草地整備改良や草地造成改良を行い、自給飼料の向上を着実に図ることが必要である。

事後評価結果

本事業により、公共牧場を利用する農業者の省力化を図りつつ、飼料作物の作付面積や生産量が大幅に増加した。

また、良質な飼料が安定して供給され、労働負担の低減、飼養管理の改善なども図られたことから、飼料自給率が向上するとともに、規模拡大が可能となり、1戸当たり飼養頭数や1頭当たり乳量が増加するなど、酪農経営の生産性の向上と安定に寄与している。

さらに、関連事業において整備された家畜排せつ物処理施設等によって、地域の生活環境も改善された。今後、家畜飼養頭数の増加により経営規模が拡大した場合でも、自給飼料に立脚した環境負荷の少ない酪農・畜産経営の推進が重要である。

第三者の意見

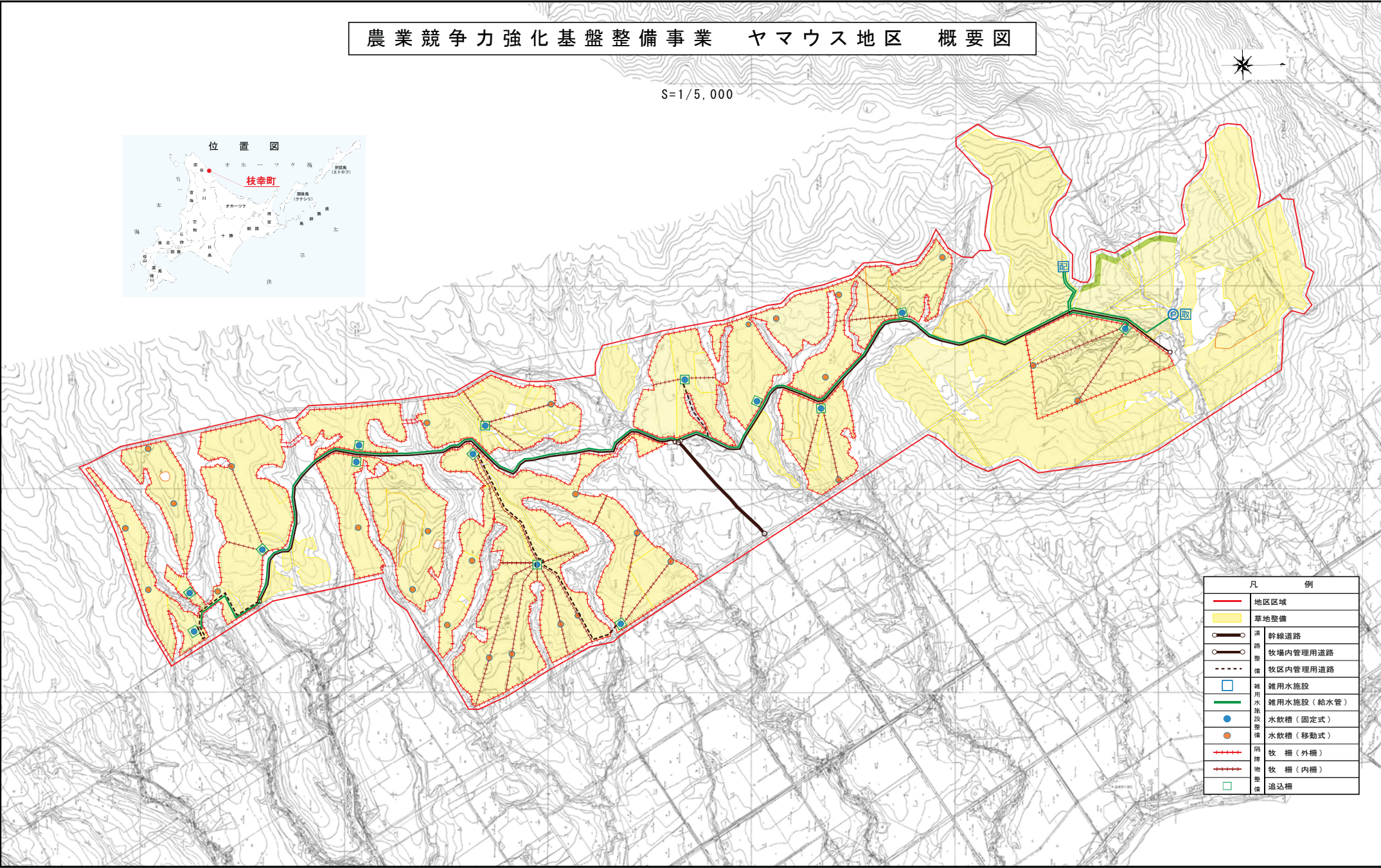
本事業により、公共牧場の飼料生産基盤及び家畜の通年預託のための利用施設が一体的に整備されたことで、預託農家数及び預託頭数が増加し、さらに牧草生産力が向上するなどの事業実施効果の発現に加え、預託農家では飼料作物の作付面積や生産量が増加し、飼養頭数や飼料自給率の向上も図られており、飼養管理の労力も低減していることが確認された。

本事業地区を含むこの地域で生産される生乳の大半は全粉乳として加工され、全国の手菓子メーカー等へ出荷されており、加工乳製品の国内安定供給に寄与しているものと評価できる。

今後に向けて、本事業により整備された公共牧場の安定的な運営の継続が望まれるとともに、地域酪農の維持発展のために、町や農協による相応のサポートが重要である。

# 農業競争力強化基盤整備事業 ヤマウス地区 概要図

S=1/5,000



凡 例	
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	地区区域
<span style="background-color: yellow; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	草地整備
<span style="border-bottom: 1px solid black; width: 10px; display: inline-block;"></span>	幹線道路
<span style="border-bottom: 1px solid brown; width: 10px; display: inline-block;"></span>	牧場内管理用道路
<span style="border-bottom: 1px dashed black; width: 10px; display: inline-block;"></span>	牧区内管理用道路
<span style="border: 1px solid blue; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	雑用水施設
<span style="border-bottom: 1px solid green; width: 10px; display: inline-block;"></span>	雑用水施設（給水管）
<span style="color: blue; font-size: 1em;">●</span>	水飲槽（固定式）
<span style="color: orange; font-size: 1em;">●</span>	水飲槽（移動式）
<span style="border-bottom: 1px dashed red; width: 10px; display: inline-block;"></span>	牧 柵（外柵）
<span style="border-bottom: 1px solid red; width: 10px; display: inline-block;"></span>	牧 柵（内柵）
<span style="border: 1px solid green; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	追込柵